

黄城

Ojo News Letter Vol.48

CONTENTS

特集 よろこそ先輩!!	1
会長および校長あいさつ	4
各支部総会報告	5
卒業50周年を祝う	8
黄城会総会を終えて	9
後輩からの一言	10
合格だ！優勝だ！	11
投稿	12
トピックス、お知らせ	13
会員寄付金の寄付者一覧	14
役員一覧、物故者、一般寄付金	15
事務局通信	16

発行 ▶ 平成30年7月1日

発行所 ▶ 黄城会

発行人 ▶ 岩松 要輔

印刷 ▶ 桜音成印刷

特集 よろこそ先輩!!

「これからの時代を生きる後輩たちへ」

— 世界中のどの国も経験したことのない社会を有意義に生きるには —



堤 正之氏
佐賀市議会議員

【講師紹介】

先日の天山登山を創立記念行事の一環として行いましたが、毎年先輩の講演会も創立記念行事の第2弾として実施しております。今日は堤正之様を講師としてお招きいたしましたので、簡単に紹介をいたします。

堤様は本校の25回卒業です。昭和48年に小城高校を卒業後、長崎造船大学管理工学科に進まれてそこを卒業された後、佐賀県測量株式会社に入社され、そこで総務課長から営業部長などを歴任されました。平成16年5月に佐賀市議会議員に初当選されました。以後当選5回を重ねられ、その間、経済産業委員長をされております。今日は「これからの時代を生きる後輩たちへ」という演題で、皆さんに話をしてもらいます。それでは堤様、よろしくお願いたします。

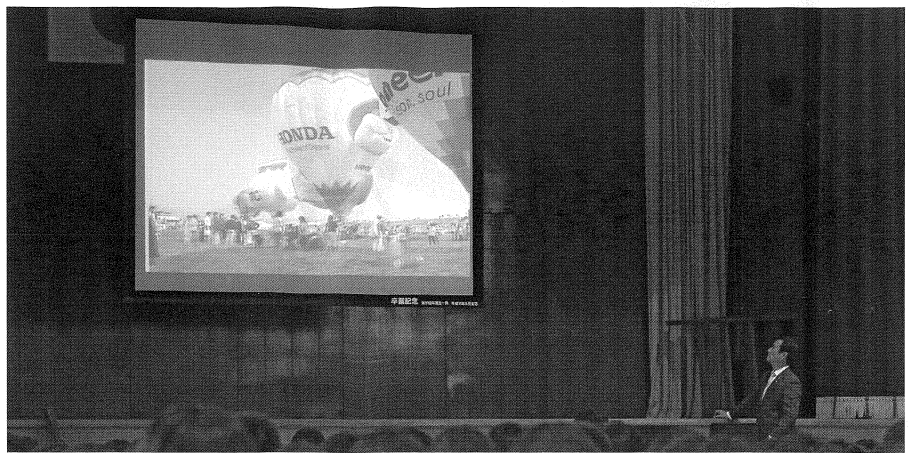
こんにちは。今回、後輩の皆さんの前で話をする機会を頂きましたので、まず皆さんが直面する社会の姿の話をし、その中にあって社会人としての生き方の一例として、佐賀の一大イベントであるバルーン大会に関わるボランティアの皆さんのお話をしてみようと思います。

超高齢化 超少子化社会

近未来の日本の姿を一言でいうと、超高齢化・超少子化社会ということになります。これほど劇的な人口減少・高齢化社会は世界において類例がありません。

具体的には、日本の総人口1億2千7百万人は40年後には8千8百万人まで減少します。佐賀県も現在83万人ですが、40年後には54万人となり、生産人口が激減して一人の若者が一人の老人や子供を支える社会となります。

同時に平均寿命も劇的に伸びることが見込まれます。現在日本人の平均寿命は過去最高を更新し、女性約87歳、男性約81歳ですが、三大疾病による死亡率の減少を考慮すると更に女性6歳、男性7歳延びると推定されており、皆さんの時代は人生90年が当たり前の社



会が到来します。

それに反して合計特殊出生率は、全国平均1.39人まで下がってしまいました。理由の一つは晩婚化で、女性の平均初婚年齢は29歳にまでなってこれ迄平均2人以上の子どもを授かっていましたが、近年は1.96人となっています。

更に拍車をかけているのが未婚率です。今、男性の未婚率は20%、女性の未婚率は10%と高くなっており、結果、出生率がどんどん低下しているわけです。

こう言うと日本の将来は暗いように聞こえますが、私は政治や国民の努力によって改善されていくものと考えています。

それにしても、これからを生きる皆さんは、この現実を直視しながら進路や生き方、社会の一員と

しての役割、そして「幸せな人生」を歩むためには今何をなすべきかを考えて頂きたいのです。

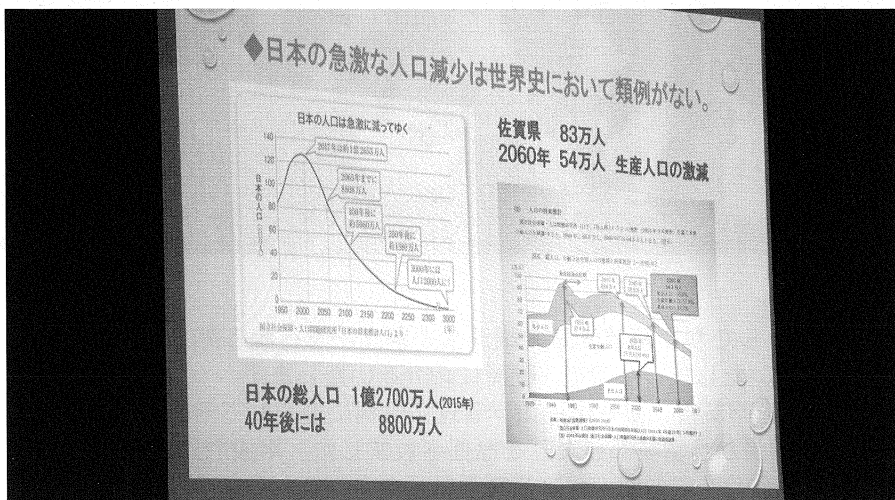
ボランティアということ

ここで一例として「佐賀インターナショナル・バルーンフェスタ」の運営に携わる人々のお話をしたいと思います。

バルーンフェスタは来年で40周年を迎えますが、民間団体「佐賀バルーンフェスタ組織委員会」が主催しています。私も34年間この大会に関わり、事務局員をしていますが、全ての役員・スタッフがボランティアです。

この大会は、規模や観客動員などで高い評価を頂いていますが、最大の特徴は2千名を超えるボランティアで支えられていることです。長年に亘って参加されている方が多いのですが、皆さんが異口同音に言われるのは、「選手や来場者・関係者の皆さんが楽しんでくれること、自分から能動的に動き、人が感謝してくれることが、何よりも喜びであり、満足感を体感できる。報酬は必要なく、奉仕することが誇りである」と答えられます。

人は一人では生きられません。自分の存在を認めてもらうことこ



そ至高の満足感や幸福感が得られるのです。

社会との関わりで自己実現

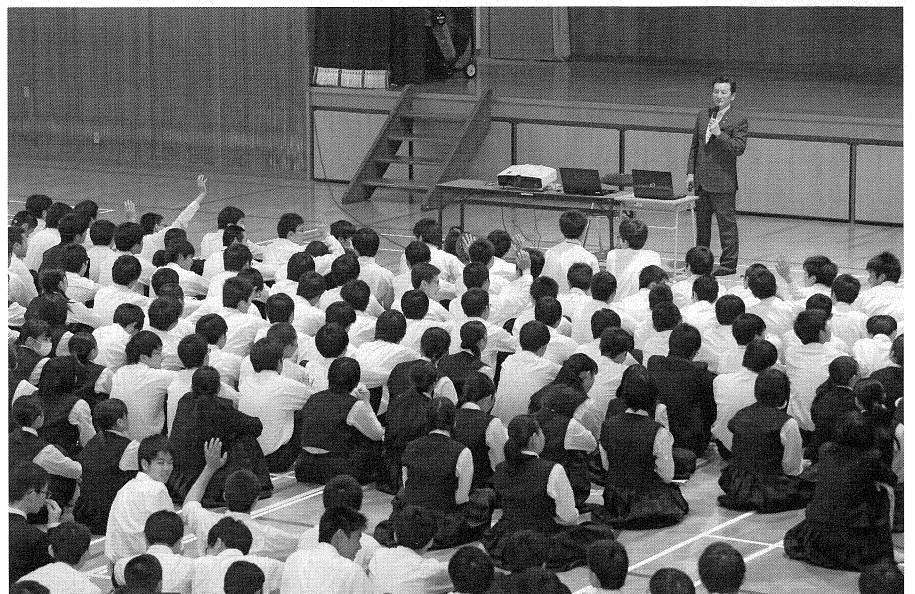
米国の心理学者マズローの「欲求5段階説」というものがあります。

最下位の欲求は睡眠や食欲など「生理的な欲求」、次は安全な暮らしを求める「安全の欲求」、その上が友人や家庭、会社から受け入れられたいという「社会的欲求」です。これまでは健康や仕事、お金さえあれば個人的に実現することができます。

しかし、この上位にある第4段階の欲求は「承認欲求」であり、他者から尊敬されたい、認められたいと願う欲求です。そして、最上位の欲求は「自己実現欲求」、自分の世界観・人生観に基づいて、「あるべき自分」になりたいと願う欲求とされています。

第4段階からは、社会や人との関わりの中で自己を表現し認知して欲しいという精神的な欲求です。バルーン大会のボランティアの皆さんは、正に精神的な満足を体感しておられるのです。

皆さんの人生は長く、あと70年



余り生きることになります。自分の好きな分野への進学や仕事に就ければ幸せですが、それでも長い人生においては、家庭や富を築くための手段に過ぎません。もっと大切なもの、それは一生付き合える趣味や活動、そして友人や仲間を持つことです。

幸せな人生を

「幸せな人生」とは、一人ひとり答えが違ふと思います。しかし、決して早すぎることはありません。色々な事に挑戦し、本当に自分に必要なもの、自分を高めてくれるものを見付け出し、時間を

かけて磨き上げて下さい。

人と比較する必要はありません。急ぐ必要もありません。どんなつまらないと思われる事でも20年も続ければ第一人者と言われます。

人口減少時代の中、皆さんの社会的役割はとても重大です。皆さん「人生の成功者」となることを祈念して話を終わります。

Profile

堤 正之 (63歳)

小城高等学校 昭和47年度卒業 (高校25回卒)
 昭和52年3月 長崎造船大学卒業
 平成16年5月～ 佐賀市議会議員





黄城の故郷から

黄城会会長
岩松 要輔

平成30年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。ここに同窓会会報「黄城」第48号が完成しましたのでお送りいたします。

母校に南接する小城公園は、初夏の候となり樟の若葉とツツジの花に彩られています。

常日頃、黄城会の活動にはご支援、ご協力をいただき、感謝いたしております。黄城会は、明治38年8月に「会員相互の連絡を図り親睦を厚くし兼て後進を奨励する」を目的に掲げ旧制小城中学校同窓会として発足し、その後百十余年にわたり活動が続けられてきています。

昨年度は総会のあと、会報の発行、ホームページの刷新、黄城教育会館の補修事業などに取り組んで参りました。支部総会へは、永田彰浩小城高校長、吉山元教頭と共に七田副会長、川副副会長、井手副会長、外尾事務局長と手分けして出席させていただき、各支部の活動の様子を見聞させてもらいました。各支部の母校に対する熱い思いを知ることができました。

今年度の黄城会総会は、恒例の5月3日に母校の体育館において、「彩SAI～彩（いろ）を織りなし未来へつなぐ～」をスローガンに徳重隆仁実行委員長を中心として新高45回卒業の皆様のご尽力で楽しく素晴らしい会合となりました。総会は大和太鼓保存会の祝奏に続く総会行事のあ

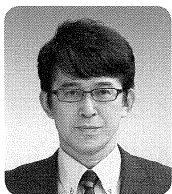
と、第二部の黄城の集いで高校20回卒業の皆さんの卒業50周年祝賀が行われましたが、ご同慶にたえません。

第三部のアトラクションでは、小城高校吹奏楽・合唱部コンサート、とんとこ一座の曲芸パフォーマンスが行われ、楽しい時間となりました。恒例の饅頭会は、一昨年からゆめぷらっと小城で高校46回卒業の皆さんの接待で大変盛況でした。

母校では、永田彰浩校長（高校30回卒業）が母校発展のため鋭意取り組まれております。

最後になりましたが、母校・黄城会の発展と同窓諸兄姉のご健康とご多幸を祈念申し上げ、会報のあいさついたします。

（平成30年5月15日）



母校だより

校長
永田 彰浩

「彩SAI～彩（いろ）を織りなし未来へつなぐ～」をテーマとする平成30年度黄城会総会は、徳重隆仁実行委員長を中心とした高校45回卒業生有志の肝煎りで盛大に開催されました。同窓生が時間を超え、空間を超えて「繋がる」ことで可能性が広がり、伝統に磨きがかかります。今年の総会テーマのように、伝統というものは、卒業生という縦糸と在校生という横糸の織りなす人生模様のようなものです。二つの糸が産み出す多様な付加価値によって、伝統はいっそう輝きを増し、後輩たちへと受け継がれていきます。本校では、「伝統は守るべきものではない、新たに創り出すものである」と檄を飛ばして、師弟同行、校訓である「創意・挑戦・誠実」を実践し、「文武一途」の実現を目指しています。

— 教育改革期のフロントランナー —

ところで、高等学校学習指導要領が改訂され、高大接続改革を中心とする教育改革は、これから一段と加速するのではないかと考えられます。学校現場では、育成を目指す資質・能力の三本柱である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を軸に、新たな教育実践が展開されます。教育は、時勢を読んでいかに迅速かつ適切に対処するかがポイントです。少子化が社会問題として深刻化する中、全国的に高等学校の統廃合が進んでいます。本県においても、伝統校が幕を下ろして、新高校に姿を変えています。そのような中、これからの高等学校に求められるものは、教育改革にいかに迅速に対応し、地域や保護者の信頼を得るかということです。今こそ、イノベーション（学校改革）が欠かせません。小城高校は、教育改革に積極的にチャレンジする先進校を目指します。

まずは、その実現に向け、以下の点について重点的に取り組みます。

- 先ずはできること、できそうなことから着手する
- 本校の強みを活かした教育実践を展開する
- チーム（小城高）で取り組んでいく
- 協働・共創によるイノベーションを奨励する

本校は、今年で創立120年目という節目の年を迎えました。120年の伝統を受け継ぐ在校生及び職員の決意表明として、正門横に「小城高校祝120周年」の横断幕を掲げています。本校が、これから5年後、10年後に元気であるために、積極的にイノベーションに取り組み、教育改革期のフロントランナーとして信頼される学校づくりを目指します。

支部総会報告

平成29年度

関東支部

8月27日 有楽町フォーエタニティ 201名

27日は暑い日でした。小城から永田校長、七田副会長、中京支部から力武勉支部長代理、特別参加で関西から19回卒の江頭喜代子さん、佐賀から20回卒の野田豊秋さんが参加。

今年の本部総会の実行委員の方々、来年の実行委員の方々には総会のお手伝いもして頂き本当にありがとうございました。総会の議事は遅滞なく終了。講演『先輩からの言葉』を高校9回卒の山崎禎昭さん（元石川島播磨重工業副社長）からして頂きました。その後、永田校長の高校の現状を踏まえた挨拶、七田副会長から挨拶があり、上京者の紹介をして1部は終了。

2部の黄城の集いは最年長の5回卒の久保精さんの乾杯により楽しい歓談が始まりました。

余興は2人の演歌歌手、14回卒村木佑子さん、39回卒江頭孝康さんにご協力頂きました。

井手実行委員長での開催が2回目になり、目標230名を目指しましたが結果昨年と同じような201名でした。今年も230名を再度挑戦するつもりです。

学年幹事の皆様のご協力で、以前に比べると倍以上の会員が集まるようになりました。

「会費を5千円で」という発想の転換がもたらしたものです。

一方、夏の開催ということでの年配者への考慮や、同期会が組織化されていない回期、永い間学年幹事が機能していない回期もあり、これからの課題として対応していきたいと思っています。

私ごとですが、在学中は一度も話したことのない方も、同期会で何度も会う内に親しくなった方が沢山います。小城高同期という接着剤で繋がっている仲間達です。

同期の仲間がこれからの人生で楽しい、心豊かな時間を与えてくれると思っています。

先輩達がそうだったように皆様もある年齢になったとき、そう感じられると思います。

何よりも同期会の繋がりを支援していきたいと思っています。

(関東支部支部長

高校14回 植崎 進)



中京支部

9月23日 焼き鳥「とりべゑ」 31名

外尾事務局長をはじめとするご来賓の方々や、実行委員のみなさんなど多数のご参加、誠にありがとうございました。

所帯の小さな中京支部において、どのようにするとお一人でも多くの会員様にお越し頂けるのか、役員のみならず支部メンバーで何度も話し合いを続けてまいりました。そこで今回はこれまでと趣向を変えて「従来のホテルから焼き鳥店へ会場を移して、ノーネクタイのラフスタイルでの開催」をいたしました。賛否はありましたが気軽な感じで好評だったという意見が多数で、概ね成功かと思っております。

関東・関西各支部の貴重なご意見や取り組み方法も参考にさせて頂き、今後も試行錯誤を重ねながらより良い支部総会を目指してまいります。

総会で年1回お会いできる方々との楽しいお話や故郷佐賀・小城での近況の報告などとても有意義な時間でした。

また世代交代も視野に入れ、今総会では若干の支部規約の変更と役員の変更を行いました。新たな気持ちで次回以降に繋げていきたいと思っています。

(中京支部事務局長

高校40回 堤 淳)



関西支部

11月4日 ホテル大阪ベイタワー 33名

本部から外尾事務局長、中京支部より力武勉副支部長、母校より永田彰浩校長に来賓としてご出席頂きました。

関西支部では、例年同様に実行委員と当番幹事で総会準備を進めたかったのですが、出席可能な44期生の在住者が見つからず総会当日は、佐賀44期生・45期生の皆様にご協力頂き支部総会を盛り上げて頂きました。

当日が土曜日ということで忘れて、勘違い？欠席の方もありました。また出席者の少ない総会で次回の総会に課題を残すことになりました。

総会1部では新田支部長が挨拶をした後、本部外尾事務局長から関東支部総会が200名を越す人数でとても盛大な総会であったこと、また中京支部総会は、初めての試みで焼き鳥屋で開催されたことまた中京支部力武副支部長からは焼き鳥屋総会で少し不便もあり、ちょっと狭く、ギューギュー感があるものの密着感があり、会話がよく聞こえ、話に花が咲いて盛り上がったと報告頂きました。永田校長から在校生の新聞記事を頂き、活躍状況を聞きました。またふるさと納税も小城市など自治体へだけでなく、小城高校に来ますよと制度を説明頂きました。残った資料は会員の方に送付したいと思っています。

2部は力武中京副支部長の乾杯音頭のと、44期生 淵上実行委員長にプロ

司会で進行をして頂きました。

44期生が在学中に母校で映画撮影された「男はつらいよ・ぼくの伯父さん」のメイキングビデオを見ながら、今は無き4階建ての校舎・親しかった旧友・近所のおじさんおばさんが映っておられ、佐賀の名所で渥美清さん・後藤久美子さん・檀ふみさんらが話す佐賀弁などを楽しみました。

また岡本副支部長が作成した関西の四季ビデオ「関西春夏秋冬」をみんなで鑑賞し、関西各地の四季の美しさを改めて感じ入りました。

カラオケコーナーでは新田支部長はじめ渕上実行委員長他たくさんの会員の方々が自慢の美声を聞かせてくれました。また44期生の佐賀・小城ふるとクイズなど懐かしさだけでなく地元の変わりゆく姿を題材にするなど皆で楽しく答えていました。

閉会後には44期生・45期生のみなさんが出席者の全員を「来年も元気で総会で顔を合わせましょう」と声をかけて見送りしてくれました。二次会も半分以上の方々が、出席して頂いて、後輩たちとの会話の中に受け継がれている「黄城魂」を感じさせてくれました。

今後も支部の活動が会員の皆様並びに黄城会全支部との交流にも役立つように、広報紙の発行を継続していきたいと思っています。

(関西支部事務局長

高校31回 古賀 和良)



関門・北九州支部

11月12日 リーガロイヤルホテル小倉 20名

本部より七田副会長、永田校長を始めとして本年度当番回期の渕上実行委員長・吉谷渉外部長、来年度当番回期の徳重実行委員長・高崎事務局長にお越し頂き、総勢20名（内支部員14名）にて開催致しました。まず、これまで支部長を務めて頂いた橋間支部長が支部総会直前の10月9日にご逝去され、参加者全員で黙とうをさせて頂きまし

た。ご冥福をお祈り致します。さて、今回も生徒さん達の校歌演奏・歌声(CD)でご参加者をお出迎えしました。橋間支部長代行と致しまして永山様からの開会のご挨拶、来賓ご挨拶、議事(事務局からの本年度支部運営報告、今後の運営、新支部長選出等)と滞りなく終了致しました。2部での懇親会は大江様(2回卒)の乾杯ご発声で開宴しました。少人数ではありましたが毎年参加して頂いている方も多く、和気あいあいの中、楽しいひと時を過ごす事ができました。今回も福岡支部より岡本壽夫様、古賀省吾様、長崎支部大石太様にもお越し頂いての支部交流もでき、また永田校長から小城高校の近況、生徒さんたちの学生生活近況のご報告を戴きました。その後の懇親の場では一人一人の近況報告、ジャンケン大会、20回卒の原田京子様ご指導でのリハビリ体操実演と大いに盛り上がりました。その後、集合写真撮影、全員で校歌斉唱、最後には全員で母校・関門北九州支部の益々の発展並びに参加者皆様の益々のご健康を祈念しての万歳三唱にて閉会しました。5月3日の総会、来年度支部総会での再会を約束し合い散会となりました。今後、近隣他支部総会への参加も試み、支部間交流も進めていきたいと考えております。本年度は都合によりご欠席された方のご参加に加え、より人数増に向け取り組んでいきたいと思っております。最後になりましたが、今後の関門・北九州支部の支部長(兼事務局長)には私、山口孝美が務めさせて頂く事になりました。微力ではありますがよろしくお願い致します。

(関門・北九州支部支部長

高校29回 山口 孝美)



福岡支部

10月14日 天神スカイホール 120名

当日は、あいにくの空模様でしたが

会場は開会前から同窓生皆さんの熱気で溢れていました。

総会においては福岡支部岡本支部長の挨拶に始まり、来賓の黄城会本部井手副会長、黄城会顧問永田校長より御祝辞を頂戴しました。また、福岡支部の近況報告を福岡支部の古賀幹事長より頂きました。

同窓会では毎年恒例の博多弁ラジオ体操で体をほぐした後、福岡支部顧問の小柳平八郎様の乾杯で始まりしました。今年の司会は44期の長尾早希子さんをお願いしました。

余興では今期の実行委員でもある永石康成君(44期)より詩吟「名槍日本號」の披露があり、意外な隠し芸に会場は多いに盛り上がりました。また全員参加のアトラクションでは、多数の方に景品が当たり会場の皆さん全員で盛り上がる事が出来ました。

最後に、宴もたけなわのなか全員で校歌を斉唱し黄城の絆を一層深め、また来年全員で再会出来ることを楽しみに会場を後にしました。

2017年度の支部総会・同窓会を開催するにあたり、ご指導頂きました支部役員の皆様方にこの場を借りて御礼申し上げます。

それと44期の福岡支部実行委員の皆さん、大変お疲れ様でした!

(福岡支部総会実行委員長

高校44回 副島 真一)



長崎支部

1月28日 諫早観光ホテル八千代 35名

古川長崎支部長、井手黄城会副会長、永田小城高校長の挨拶後、事務局長が長崎支部の現状などを報告し、その後2回生の音成一雄さんの乾杯の音頭で宴会に入りました。

5つのテーブルでの楽しい会食が一段落した後、平成29、30年度実行委員が昨年の総会のお礼や、今年の総会の

案内を述べ、さらに県内から初参加の4名の皆さんや、岡本福岡支部長をはじめその他の参加者全員にも挨拶や近況報告をしてもらいました。

続いて演芸の部に入り、11回生の丸谷さんがフラダンス、10回生の松本さんが韓国舞踊、15回生の永尾さんが詩吟と二胡を披露しました。さらに大石事務局長が頭の体操（小城高校クイズなど）と連想式福引きゲームを行い、そのあと全員で校歌を歌いました。

最後に一同の記念写真を撮り、また4回生の江頭駿治さんには閉会の挨拶を、44回生の湖上さんには小城高校のエールをきってもらい3時間に及ぶ会はめでたく終了しました。

（長崎支部事務局長

高校10回 大石 太）



佐賀支部

10月15日 グランデはがくれ 174名

当日は雨天にもかかわらず174名が参加し、支部総会は大いに盛り上がりました。

総会の部は44回生が進行を担当、始めに江里口支部長が歓迎の挨拶を述べ、続いて永田校長先生の来賓の挨拶が終わると、今回珍しいハプニングが起きました。会場に永田校長先生と同期の仲間16名が出席し、母校の校長就任をお祝いし同期を代表して佐賀支部世話役川内野君が祝辞を述べ、同期の女性2人が先生に花束を贈ったのでした。その時、会場内からにわかには拍手が起り、温かい雰囲気包まれたのを覚えています。

このあと今年度黄城会総会実行委員長及び来年度の実行委員長から、今年の総会お礼と来年の総会に対する抱負などが述べられ、他の議事も滞りなく終了しました。

引き続き後半の懇親会に移り、45回生の司会のもと和やかに進められまし

た。始めに「佐賀にわか・きんちゃん一座」の公演を鑑賞しましたが、佐賀弁で語られるにわかは、とても面白く笑いに満ち、皆が聞き入っていました。この後も当支部定番のお楽しみ行事、じゃんけんゲームや抽選会が行われ盛り上がりしました。最後に校歌斉唱と、万歳三唱で締めくくりましたが、校歌斉唱では昨年からの応援歌が復活し力強く歌われました。

支部総会を通し旧交を温め、親睦を深める事が出来まして、意義ある支部総会になったと確信しています。

閉会后、総会に参加した後輩のある一人から、「小城高の卒業生でよかった、自分の後輩にも小城高へ進学するよう自信を持って勧めたい。」という言葉も聞いた時は、感動を覚えたものでした。

これからも母校の発展のため、また会員相互の親睦を深めていくために、微力ながら努力していきたいと思っています。引き続きご指導ご協力のほど、よろしくお願い致します。

（佐賀支部支部長

高校16回 江里口 勉）



唐津支部

2月4日 虹の松原ホテル 35名

本部より外尾事務局長、母校より永田校長、佐賀支部、福岡支部の役員の方に来賓としてお越しいただきました。

総会では、白石支部長の支部活動の報告と今回で第7号となる支部会報を配布しました。

次に来賓の皆様からは、黄城会の本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況をうかがいました。

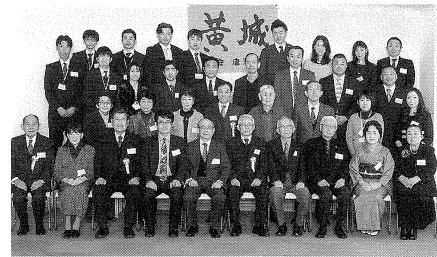
また、総会実行委員会の方には昨年参加のお礼と、今年の総会の紹介と案内をもらいました。

懇親会では、唐津地区在住や勤務の参加者から近況を話していただき、アトラクションとして当支部の江口さん

による鮮やかなマジックの技を披露していただき、楽しい時間を過ごしました。

（唐津支部事務局長

高校28回 鮎川 正博）



県庁支部

10月6日 グランデはがくれ 67名

総会には、黄城会本部の外尾事務局長(20回)、母校小城高校の永田校長(30回)をはじめ多くのご来賓の皆様にもご参加を賜りました。懇親会では日ごろの苦労話や懐かしい昔話で大いに盛り上がり、最後は全員で校歌を熱唱しました。

さて、佐賀県では明治維新150年を契機に2018年3月17日から2019年1月14日まで「肥前さが幕末維新博覧会」を開催しています。

幕末維新时期に国内最先端の科学技術を有し、鎖国から開国へと向かう大きな流れの中で、明治維新の“鍵”を握っていた佐賀。

その類まれなる技術力「技」、教育改革が生み出した多くの偉人「人」、そして、これらの根底に流れる「志」。

「肥前さが幕末維新博覧会」は、こうした幕末維新时期の佐賀を映像で体感するとともに、佐賀の歴史、食、文化、アートを存分に楽しんでいただく博覧会です。

“その時、佐賀は世界を見ていた。”

“そして今、佐賀は未来を見ている。”

佐賀市城内エリアを中心に県内各地の会場で開催していますので、ぜひご来訪ください。

（県庁支部支部長

高校31回 南里 隆）





高校20回
野田 豊秋

私たち20回生590名は、1965年（昭和40年）4月小城高等学校に入学しました。

当時の学校は、旧制中学校・高等女学校の面影を多く残しており、校門右側には樟影館、傍らに大きくそびえ立つ大楠、右手奥には高等女学校時代の雨天体操場、横には木造校舎、左手後ろには旧制中学の武道場、正面には新制高等学校の象徴的な4階建ての鉄筋校舎、まさに伝統校のたたずまいでありました。

合格発表後の集合場所は、桜の咲き誇った女学校校舎前の広場で、4月の入学式は現在弓道場がある場所に旧制中学校の講堂があり、その講堂で挙行されました。伝統校の誇りを感じ、緊張感と晴れやかな思いが交錯する中に高校生活がスタートしました。

1年生のころは、戦後復興を成し遂げた日本のGDPがアメリカに次いで世界第2位となり、「いざなぎ景気」の到来で3C時代と言われ、自家用車、カラーテレビ、クーラーが家庭に普及し、我々世代にもエレキギターやミニスカートが流行り、2年生の時にはビートルズが来日して一世を風靡し、グループサウンズが流行りました。3年生のころは戦後処理でご苦労された吉田茂元総理が逝去され、「もはや戦後ではない」と言われて日本の経済が大きく伸展しました。

学校生活においては3年間続いた、毎週のクラス対抗の授業時間前の英単語・漢字の書き取りテストで、クラスの成績に一喜一憂したものでした。

学期に1回行われたバレーボール、バスケットボールのクラスマッチや秋の文化祭、東西南北に分かれて競った体育祭。部活動も盛んで、バレーボール部、バスケットボール部、サッカー部、卓球部が県高体連で優勝し体育館のステージに4本の優勝旗が並び全校生徒に披露されました。本当に充実した3年間で、青春時代の忘れられない私たちの思い出として強く心に残っています。卒業は1968年（昭和43年）3月。進学に就職にと全国に飛び立って

行きました。

時代は、学生運動が激しく東京大学の安田講堂を学生が占拠して東大入試が中止になったり、東京府中市での3億円強奪事件、1970年大阪万国博覧会が開催されるなど、混乱する世相の中、価値観やモノの考え方も変化して日本全体が大きく躍動していく高度成長期を実体験しました。

卒業24年目には、黄城会総会副実行委員となるべく20回期の召集を受けて十数人が集まり、総会での副実行委員の準備のための集まりが始まりました。1年間の準備会は、19回生からのレクチャーを受けながら25年目の実行委員を務めるため、多くの同期生を集めるべく手配をして140人ほどが集まりました。役割分担をしながら準備をする中で、本当の同期の絆が深まるのを実感しました。25年目の総会当番では、先輩方から受け継がれてきた総会の成功を願い、精一杯の準備をして総会を成功裡に終えることができ、その後の打ち上げでは大いに盛り上がりました。当番以降25年間の今日まで、代表、事務局、会計は代わることなく務めております。

それ以来毎年の総会後の同級会はもちろんのこと、卒業26周年目からは、京都、東京、福岡、長崎、神戸と記念同窓会を開催してきました。今回は5月2日に、卒業50周年記念同窓会と銘打って佐賀の龍登園で100名ほどが集合。50年ぶりの友の顔も数名、話すうちに昔の顔が思い出され再会を喜び合いました。開会後のあいさつでは49名が亡くなっていることや、25年間変わ

らず事務局を外尾君に、会計を岸川君に続けてもらって20回期を支えてもらっていること。黄城会本部事務局長として過去に北島君、現在は外尾君が携わってくれて黄城会を支えていること。私も25年間回期の代表として皆の前面に立たせていただいたことなど感謝を伝えさせてもらいました。開宴後は、同期生による民謡、ベンチャーズバンド、フラメンコダンスなどで時間を忘れて盛り上がりました。

総会当日の晴天の中、学校へ。受付でリボンを着けてもらい120名ほどが参加して会場へ、総会では旧制中学校、高等女学校、新制高等学校の校旗を持った同期生代表が堂々と行進して登壇する姿を見上げながら50年目を実感し、校歌斉唱では同期生みんなが思いを込めて歌い、いよいよ全員が登壇する時が来ました。代表あいさつを考えると私の緊張も最高潮になり、みんなの思いや小城高校を卒業して良かった。母校の120年に及ぶ永い歴史と伝統の1ページに加えて貰えた喜びを話すことができ、本当にほっと胸をなでおろしました。今回の50周年の記念同窓会及び黄城会総会を無事に終え、黄城会の素晴らしさを改めて実感し、この伝統を末永く繋いでいきたいものと考えを新たにしました。

最後になります。20回生一同も今後とも黄城会の発展に微力ながら努めてまいり所存でありますとともに黄城会の更なる発展と、今回お世話をしていただいた45回生、46回生の皆様へ感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。



黄城会総会を終えて

2018年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 徳重 隆仁 (高校45回)



「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」

黄城会総会を担当するにあたり、今回ほど論語の中でも有名なこの一節が、身に沁みたことはありません。

晴天に恵まれた5月3日、全国各地より大変多くの先輩方がお見えになり2018年度黄城会総会が開催されました。懐かしい友人方との再会に、笑顔溢れる皆様の様子を見てみると、私も大変喜ばしい気持ちになりました。前日準備では土砂降りの中の作業となり、参加された方々は大変お疲れ様でした。翌日の天気は心配されましたが、皆様の総会を想う気持ちが天に通じたのか、好天のもと無事に総会を開催することができました。

私をはじめ、45期生の多くが、このような大きなイベントに携わることに不慣れで、何かと行き届きない点が多く、ご迷惑やご不便をお掛け

したことと存じます。この場をお借りしまして、お詫び申し上げます。

また、黄城会各支部の皆様には、並々ならぬご支援ご協力をいただきました。無事、総会を終えることができたのも、会員の皆様のご協力あってのことだと思います。心より厚くお礼申し上げます。

「朋あり遠方より来る」の「朋」とは、同門の同じ志を持つ仲間という意味もあるそうです。総会の成功という同じ目的のため、総会当日には全国各地から100人以上もの仲間が駆け付けてくれました。そのような仲間たちと、時にはぶつかり時には協力し合い、まるで学生時代に戻ったかのように同じ目標にむけて団結し合える、そんな素晴らしい経験の場を与えてくれた黄城会に感謝したいと思います。また忙しいなか、それぞれの得意分野を活かして各部署で活躍してくれた45期の仲間たち

にも、心から感謝の言葉を贈りたいと思います。

私たち45期生は、総会スローガンに「彩SAI～彩(いろ)を織りなし未来へつなぐ～」を掲げ、総会準備を進めて参りました。このスローガンには、先輩方が紡いでくれた歴史と伝統の縦糸に、私たち45期生の新たな彩で染め上げた横糸を加え、そして来年度の後輩たちに託して織りつないでいく、そのような想いが込められていました。

今回、我々45期生が染め上げ織り上げた彩は、どのような彩だったでしょうか。きっと来年度、記念すべき創立120周年を担う46期生も素晴らしい彩で織りつないでいってくれることと思います。これからも引き続き、46期生へのご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

饅頭会を終えて

2019年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 吉次 篤司 (高校46回)



2018年5月3日。晴れときどき強風。

高校を卒業して24年目。ついに我々に黄城会総会、饅頭会の当番が回ってきました。

昨年、10月。たまたま声がかかり、黄城会館に呼ばれ、ついにこの時が来たのか、歴代の先輩方より「たいへんだよ、でもやりきったら楽しくて学校に愛着がわくよ」と脅しなのか励ましなのか分からないような言葉を記憶の片隅に残された、あの総会に関わらなければいけなくなったのかと正直、憂鬱でした。友人数人も仕方なくという思いが強く、10人揃っていない状態から本番に100名

近く呼ばなければいけないというプレッシャーからのスタートでした。100人くらいまでは比較的早く連絡は取れたのですが実際の本番に、何人の人が来てくれるのか？とりあえず人数は足りたという事務局長の言葉を信じ、本番に向かいました。

朝、駐車場にはスーツを着た人ばかり。

そこには懐かしい笑顔。よかった。ちゃんと集まってくれてました。それからは、先輩方のお手伝いと饅頭会の運営。ひとりひとりが自分ができることをしっかりとやってくれていました。やりきった、それが今の感想です。

45期の先輩方にはいろいろなアドバイスをいただきました。その他たくさん先輩方には至らぬところがあったでしょうが、温かい言葉をいただきました。

来年は、120周年となります。これまでの歴史を受け継ぐべく、我々が無理なくできることをしっかりと受け継いでいければ、今後のためにできることは、繋いでいくことだと思います。

私個人は至らないですが、仲間たちは立派ですので安心して構えて、来年また楽しい時間を過ごしていただけよう頑張ります。

どうか、よろしく申し上げます。

校訓「創意・挑戦・誠実」実践の重要性

馬場崎 凧（同志社大学法学部法律学科）

「創意・挑戦・誠実」。このスローガンがあったからこそ私は、学業・部活動等の高校生活を両立することができました。

自分の考えを持って誠実に挑戦するという事は、学業・部活動においても大変重要なことだと思います。

部活動は、中学校の時から続いていた卓球部に入部しました。皆で一緒に練習メニューを考え目標を立て、一つ一つ大会を経験することで、仲間と協力することの大切さ、仲間がいることへの感謝の気持ちを学ぶことができました。また技術面・精神面のみならず、人間的にも成長することができたと思います。

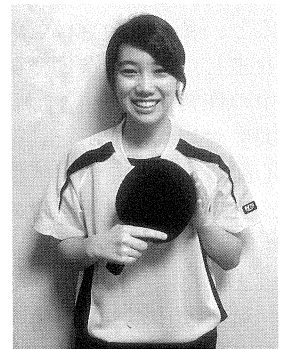
学習の面では、自分の決めた目標に向かって毎日全力で取り組みました。日々の課題や予習復習の他に受験対策の勉強をするのは非常に大変でしたが、共に切磋琢磨する仲間が存在がとても心強くありました。そして何より、夜遅くまで指導して下さった先生方のサポートのおかげで、乗り越えることができたと思います。

受験本番の時も、先生方や友人からの励ましがあつたおかげで心を強く持つことができ、「団体戦としての受験」を戦うことができました。

春からは、同志社大学法学部法律学科に進学します。人間生活の根本

である法についてしっかりと学んだ後は、佐賀に帰ってきて、生まれ育った佐賀県の発展に尽力していこうと考えています。

私は、小城高校で学んだ「創意・挑戦・誠実」と、人と人とのつながり「絆」の大切さを忘れず、日々全力で頑張っていきます。



3年間の集大成

中原 雄樹（九州工業大学情報工学部情工3類）

私は、小城高校での3年間、学業・部活動の両方でとても充実した毎日を過ごすことができました。多くの人との出会いがあり、様々な形で助けられ、今までの人生の中で最も成長できた3年間でした。

部活動では、吹奏楽・合唱部に所属していました。毎日のきつい練習に加え、たくさんの課題をこなすのはとても大変でした。ですが、たくさんのステージに立たせていただき、たくさんの人の笑顔を見ることができ、人を笑顔にすることのすばらしさを知ることができました。

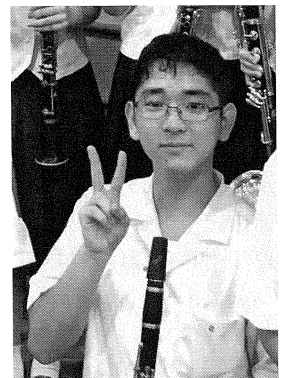
3年生になり、最後の吹奏楽コンクールでは思うような結果を残すことができませんでした。ですが、合唱コンクールでは金賞をいただき、沖縄で行われた九州大会へと進むことができました。部活内でもめごと

などあり、みんなの関係がギクシャクしていた時期もありましたが、部員みんなの気持ちのバクトルがそろい、目標を達成できたことの感動は一生の思い出になりました。

学業面では、コンクールがあり、ほかの人よりも遅い9月からのスタートでした。ほかの人よりも遅れてのスタートだったので不安と焦りで気持ちが沈んでしまった時もありました。ですが、たくさんの友人たちの頑張っている姿に刺激をうけ、自分のペースを取り戻すことができました。この時に『受験は団体戦』という言葉の意味が分かったような気がしました。また、推薦入試の指導を受けながら、同時にセンター試験の勉強、二次試験対策を同時にこなすことはとても大変でした。ですが、担任の先生をはじめ、たくさん

の先生方の支えがあつたおかげで何とか乗り越えることができました。指導をしてくださった先生方に合格報告という形で恩返しすることができて、本当に良かったです。

私は、この春から九州工業大学情報工学部情工3類に進学します。ここで、自分があこがれている研究室に入り、将来は楽器の研究者になろうと考えています。今まで様々な形で支えてくださった方々に恩返しができるように全力で頑張りたいです。





合格だ！優勝だ！



平成29年度
学業報告・部活動の成績

合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】 山形大学1 / 静岡大学1 / 島根大学2 / 広島大学4 / 山口大学1 / 九州工業大学4 (1) / 福岡教育大学1 / 佐賀大学22 / 長崎大学7 (1) / 熊本大学1 / 宮崎大学1 / 鹿児島大学1 / 鹿屋体育大学1

【公立大学】 横浜市立大学1 / 島根県立大学1 / 県立広島大学1 / 高知工科大学1 / 北九州市立大学3 / 長崎県立大学6 / 熊本県立大学2 / 宮崎公立大学3 (1)

【私立大学】 青山学院大学1 / 国際医療福祉大学1 / 東海大学1 / 帝京大学1 / 日本大学1 / 法政大学1 / 同志社大学3 / 立命館大学1 / 近畿大学2 / 関西学院大学2 / 西南学院大学16 / 福岡大学44 (7) / 久留米大学53 (4) / 九州産業大学6 / 久留米工業大学8 / 筑紫女学園大学23 / 中村学園大学4 / 福岡工業大学14 (2) / 福岡女学院大学1 / 西九州大学21 / 長崎総合科学大学1 (1) / 活水女子大学3 (1) / 長崎純心大学1 / 長崎国際大学5 / 崇城大学9 (2) / 別府大学3 (1) / 立命館アジア太平洋大学1 / 九州保健福祉大学1 / その他の大学32 (3)

【短期大学】 私立短期大学6

【その他】 文科省外大学1 / 高等看護学校10 / 医療系専門学校18 / その他専門学校9 / 就職3

部活動の成績

【体育部】

1. 柔道部

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会柔道競技 / 女子団体 優勝 (九州大会・全国大会出場) / 男子団体 ベスト8 / 男子個人 優勝 鶴本健太 (九州大会・全国大会出場) / 女子個人 優勝 大石野乃・中島咲・夏秋葵 (九州大会・全国大会出場)

○九州高等学校総合体育大会柔道競技 / 女子個人 準優勝 大石野乃

○全国高等学校総合体育大会柔道競技 / 男子個人 5位 鶴本健太

○九州女子ジュニア (20歳以下) 選手権大会 / 個人 優勝 大石野乃

○佐賀県高等学校新人柔道大会 / 女子団体 準優勝 (九州大会出場) / 男子個人 準優勝 松尾政貴 (九州大会出場) / 女子個人 準優勝 夏秋葵・山本萌 (九州大会出場)

2. ソフトテニス

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 / 男子団体 準優勝 (九州大会出場) / 男子個人 第3位

高塚涼介・横尾凌大 (九州大会出場)

○全九州高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 / 男子団体 第3位

3. 弓道

○佐賀県高等学校春季弓道大会 / 男子団体 準優勝 / 女子団体 準優勝 / 男子個人 優勝 陣内聡

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会弓道競技 / 男子団体 準優勝 (九州大会出場)

○国体選手選考会 (遠的の部) / 男子個人 優勝 陣内聡 (九州国体出場)

4. バドミントン

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会バドミントン競技 / 女子団体 第3位

5. 陸上

○佐賀県陸上競技記録会 / 男子棒高跳 第3位 島崎悠太 / 女子三段跳 優勝 月岡麗 / 女子三段跳 準優勝 小副川理子

○佐賀県陸上競技選手権大会 / 男子棒高跳 第3位 島崎悠太 / 女子三段跳 準優勝 月岡麗 / 女子三段跳 第3位 小副川理子

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会陸上競技 / 男子棒高跳 第4位 島崎悠太 (北九州予選会出場) / 男子4 × 100m R 第6位 岡譲二・南龍治・飯盛徳興・駒井快成 (北九州予選会出場) / 女子走幅跳 第3位 月岡麗 (北九州予選会出場) / 女子三段跳 第3位 月岡麗 (北九州予選会出場) / 女子棒高跳 第4位 松本紗季 (北九州予選会出場)

○全国高等学校総合体育大会北九州予選会 / 男子4 × 100m R 準決勝進出

○国体選手選考会 / 男子棒高跳 準優勝 島崎悠太

○佐賀県高等学校新人陸上競技大会 / 男子棒高跳 優勝 島崎悠太 (九州大会出場) / 女子棒高跳 準優勝 松本紗季 (九州大会出場) / 女子円盤投 第6位 樋渡遥香 (九州大会出場)

○佐賀県高等学校陸上競技選手権大会 / 男子棒高跳 準優勝 島崎悠太 / 女子棒高跳 優勝 松本紗季

6. テニス

○第45回佐賀県高等学校学年別テニス大会 / 第3位 (1年男子シングルス) 遠藤豪

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会テニス競技 / 女子団体 ベスト8

○第45回佐賀県高等学校テニス新人大会 / 女子団体 ベスト8

7. バレーボール

○佐賀県高等学校ビーチバレーボール選手権大会 / 男子 優勝・準優勝 (全国大会出場)

8. アーチェリー

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会アーチェリー女子 / 女子個人 ベスト8 田中郁実

9. 空手道

○第14回九州地区団体戦空手道選手権大会 / 高校男子 組手 第3位 中野功輝・児玉浩章 / 高校男子 形 第3位 中野功輝・中野陽輝

10. 相撲

○第55回佐賀県高等学校総合体育大会相撲競技 / 高校男子80kg級 準優勝 友永健生

【文化部】

1. 書道部

○第25回佐賀県書道展 / 優秀賞 永松愛美・森美月

○第42回佐賀県書作家協会展 / 佐賀県書道教育連盟賞 古川春南 / 特選 小池里佳・山田愛美

○第69回佐賀県高等学校席書大会 / 特選 (創作の部) 古川春南 / 奨励賞 (創作の部) 永松愛美・森美月 / 特選 (臨書の部) 井上春佳 / 奨励賞 (臨書の部) 田口千尋・小池里佳・西村蒼・松江遥香

○第28回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会 / 梧竹顕彰会賞 古川春南

○第46回全国高校書道展 / 推薦 森永彩香・橋口雛花

2. 吹奏楽・合唱部

○第58回佐賀県吹奏楽大会 銅賞

○第72回九州合唱コンクール佐賀県予選 金賞 (九州大会出場)

○第71回九州合唱コンクール 銅賞

3. 美術部

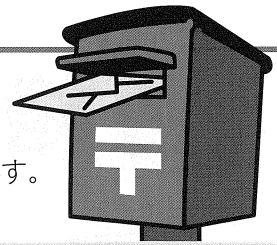
○第70回佐賀県高等学校スケッチ大会 / 特選 平尾優貴 / 奨励賞 市川袖夏・堤大介・石井智貴・徳永慧

4. 放送部

○第64回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会 / アナウンス部門優良大家千東 (全国大会出場) / 朗読部門優良 古賀あすか (全国大会出場)



放送部



記憶の中の小城高校

黄城会佐賀支部 支部長(高校16回) 江里口 勉

4月も半ばを過ぎた頃、不意に黄城会事務局から電話が入った。会報の原稿依頼であった。テーマは自由ということだし、丁度その頃は、クラスメートに黄城会総会の参加を呼び掛け、何かと母校のことが頭にあったので、二つ返事で引き受けた。

ペンを握る前に、まず小城高に対する現在のイメージを思い浮かべてみた。幸いなことに、この頃はしばしば母校のことが、新聞やテレビで報道される。母校が元気になってきた証拠かもしれない。例えば小城高生徒の善行が表彰されたとか、入学式の時の難聴者に対する学校の温かい配慮やら、文化・スポーツ関連の部活の躍進振りなど、数えればきりが無い。そしてこれらの報道に対する読者、視聴者等の反応もすこぶる良い。発信地に目をやると、県境を越えたところからも賛辞が届いている。

そこでこの原稿では、今の小城高生の意識の高さを垣間見た身近な例を挙げてみたい。今年の3月から4月にかけて新聞に載ったニュースを紹介しよう。

それは3月26日の佐賀新聞の読者のページに載った記事から始まった。新聞には小城高生の投稿記事が載っていた。「水曜会について教えて」と書いてあった。いまどき水曜会という文字を見るときは正直驚いた。質問の内容は、水曜会ができた時期やその経緯、役割及び水曜会の立ち位置などを教えて欲しいというのだ。そういえばたしかに水曜会は、他校にはない小城高独自の組織であり、他校は全く参考にはならない。現職の先生に聞いても、知っている人はいなかったということで、新聞に投稿することを思いついた由。実は私も高校時代、水曜会の委員ではあったが、そんなに真面目な方ではなかった。ましてや半世紀以上前のことは、記憶が薄れてしまっている。校内の美化活動や校則の徹底など風紀の向上のための活動なら、時々やったことはある。ただ任務としての検査、例えば髪や服装、所持品、喫煙の有無が判る唾液検査などは、あまりやりたくなかった。違反した生徒がいて、停学になった生徒の例を知っているのだから、やりたくなかったのだ。だから私は不真面目な委員であったかもしれない。こんなことも懐かしく思い出しながら調べた。先輩としてちゃんと調べ上げてから回答したいとの思いで、卒業アルバムや、同窓会を開いた時の文集なども読み直し、過去の記憶を辿りながら調べた。それにしても疑問を抱いたことを追求する今の水曜会の諸君には頭が下がる。

ところでこの調査中、私的なことだが思いも寄らない幸運が訪れてくれたのである。そしてこれが、生徒の質問に応える重要なカギとなったから有難い。

それはなんとということはない家の中の片づけ物をしていた時のことだった。亡くなった父の古日記を整理しようとページをめくっていると、ページの間から古新聞の切り抜きがひらりと落ちたのだ。それは54年前の佐賀新聞の切り抜きであった。新聞記事には高校時代の私の思い出として、水曜会活動のことも書いていた。父は自分の息子が新聞に載っていたので、親心として記念に切り取って残していたのだろう。この事実は偶然とは思えない何か不思議な力が働いたとさえ感じた。数十年経ても親の心が残っていることに気付いたひとコマだった。

早速私は後輩達の質問に応えるべく、佐賀新聞に回答を投稿したのは言うまでもない。

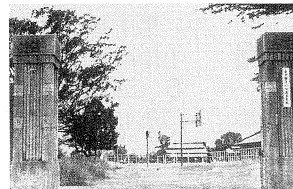
生徒達も新聞をちゃんと見てくれていた。4月23日、佐賀新聞に「情報提供で分かった二つの事実」という見出しで、私の回答に対するお礼の記事を書いていた。なんとか役に立ったようで、ほっとした。

長くなってしまったが、あと少しだけ支部長としての思いを述べてみたい。

現在世の中は目覚ましいスピードで変化している。これに対応した支部運営が必要なのは言うまでもない。学校区の改定、少子化による生徒数の減少等の要因が重なり、学校によっては改編の対象になる場所も現れつつある。こういう現実を直視し、黄城会も学校と一心同体であることに思いを致し、学校とともに発展していかなければいけないと思っている。黄城会の目的である「会員相互の親睦を図り、小城高等学校の発展に寄与する」という条項を、今一度噛み締めたい。

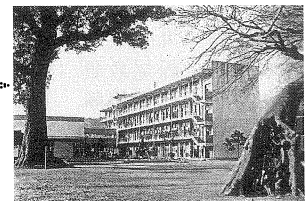
ともかく黄城会活動が衰退しないよう、みんなで支え合っていかなければいけないと思っている。

結びに県内有数の組織力、団結力を誇る黄城会の発展と、輝かしい歴史と伝統を持つ我が母校の更なる飛躍、並びに会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りしながらペンを擱きたい。



昭和36年入学時は、
体育館は無かったの
です。

写真の校舎は昭和38年高
3の時に新築。喜びも束の
間、すぐ卒業。時代は変わ
り、今また新校舎に生まれ
変わっています。



トピックス



第15回ゴルフコンペ開催！

優勝 於保 克己さん (高校32回卒)



(敬称略)

順位	卒業回数	氏名
優勝	32回	於保 克己
準優勝	32回	真子 政彦
3位	37回	池田 龍史
4位	24回	池田 尚文
5位	37回	池田 浩一
6位	32回	中野 善浩
7位	35回	小山 晃
8位	40回	永溪 直久
9位	17回	松尾 剛之
10位	16回	堤 謙太

毎年恒例の黄城会ゴルフコンペ（佐賀支部主催）を平成30年5月20日（日）大和不動カントリー倶楽部において開催しました。当日は天候にも恵まれ、総勢38名の参加を得て盛会裡に終了することができました。

また、参加者からのチャリティー募金36,000円を黄城会へ贈らせていただきました。開催にあたって準備等のお世話をいただいた当番回期の45・46回生や世話人の皆様、また協賛賞品をご提供いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

なお、上位入賞者は右の表のとおりとなっています。

【参加者募集】

このゴルフコンペは、佐賀支部主催で毎年5月の第3日曜日に開催しており、広く黄城会会員の皆様の参加をお待ちしております。参加ご希望の方は下記までご連絡ください。案内状を差し上げます。

【連絡先】 佐賀支部事務局長 岸川宗一郎

TEL・FAX 0952-72-7091 携帯090-9729-2412

お知らせ

平成30年度支部総会予定日

*平成30年度の支部総会開催日をお知らせいたしますのでご参加ください。（時間、会場等は各支部へお尋ねください）

支部名	予定日	氏名	電話
関東	H30 8/26(日)	支部長 檜崎 進	03-5397-7877
中京	H30 9/15(土)	事務局長 堤 淳	056-152-9252
関西	H30 9/24(月)	事務局長 古賀 和良	072-224-4680
福岡	H30 10/13(土)	幹事長 古賀 省吾	093-691-0755
県庁	H30 10/19(金)	幹事長 塚原 弘幸	0952-25-7322 (国体・全障入ボ 大会推進課)

支部名	予定日	氏名	電話
佐賀	H30 10/21(日)	事務局長 岸川宗一郎	0952-72-7091
関門北九州	H30 11/11(日)	支部長 山口 孝美	080-3182-0346
長崎	H31 1/27(日)	事務局長 大石 太	090-6774-1144
唐津	H31 2/3(日)	事務局長 鮎川 正博	090-4997-1372
多久	H31 2/10(日)	事務局長 古賀 通雄	0952-75-3629

平成29年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、建築後30年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修(照明、内装、空調設備、電気工作物ほか)費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、336人の会員の皆さまから総額3,567,000円の

ご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨のとり有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧中40)	川 副 富 男	木村(鶴田)美津子	村岡(森)芳子	宮原(吉富)史枝	南 里 一 夫	(高校29)
野 副 繁	久 保 精	鶴橋(平山)みゆき	森(手塚)紀美代	山下(馬渡)常子	西 田 幸 博	坂 井 秀 明
(旧中42)	坂 村 秀 幸	中島(浦郷)淑子	万谷(山田)千里	(高校16)	野 中 義 美	新 郷 要
於 保 實 美	高 木 修	牧野内(長尾)三枝子	(高校12)	岡 田 史 一	外 尾 美 好	雪 竹 稔
(旧中43)	立 石 博	森 永 弘 子	池 田 昭 欣	古 賀 紀 昭	泉 (水田) 富子	井手(音成)真喜子
土 井 保 弘	東 島 章	吉村(犬山)米子	池 田 敏 憲	高 木 靖 哉	江頭(兵動)さよ子	富永(山口)孝子
松 浦 茂 雄	飯盛(馬場崎)美智子	渡邊(中島)由美子	江 口 尚 久	豆 田 泰 夫	川 辺 (円城寺) 直子	松浪(西山)裕子
(旧中44)	石井(馬場)津智子	(高校9)	大 島 文 雄	大草(田中)タカ子	庄野(江島)なほみ	(高校30)
岸 川 博 隆	川口(山田)綾羽	金 丸 忠	沖 田 極	松尾(馬場崎)マサ子	寺 崎 (北川) 操	笠 原 里 美
久 保 剛	岸 川 郁 子	納 富 敏	小 島 吉 晴	森下(中島)栄子	原 田 (野口) 京子	(高校31)
(高女23)	堤 (三好) 澤子	森 永 瑞 穂	菰 田 照 雄	(高校17)	松 山 栄 子	高 屋 み さ よ
大野(西)節子	宮地(片桐)明子	山 崎 禎 昭	小 柳 平 一 郎	石 井 隆	武藤(山田)佐恵子	(高校32)
諸石(高塚)クイ	力久(陣内)二三枝	山 地 (手柴) 満子	中 原 光 明	坂 井 昇	山口(南里)さん子	大 坪 敏 郎
(高女24)	(高校6)	(高校10)	馬場井 捷 一	下 村 法 男	山口(末永)佐登美	(高校33)
江里口(北川)露子	井 手 一 雄	岩 松 要 輔	林 義 人	田 中 善 吾	諸岡(副島)美和子	西 山 茂 樹
松隈(野田)幸子	江 口 英 明	大 石 太	江口(光石)洋子	野 田 新	和 田 (卯野木) 邦子	清 水 (山田) 祐子
(高女25)	古 賀 弘 毅	岡 本 壽 夫	木原(野田)澄子	原 田 元 彦	(高校21)	(高校34)
森(江副)良子	佐久間 穰	金 林 元 春	黒澤(大久保)知子	松 尾 剛 之	北 島 和 久	真 崎 俊 夫
(高女26)	徳 永 誠 行	木 下 謙 次	小島(堤)昭子	本 村 清 人	野 田 政 敏	宮 崎 紀 久
陣内(光岡)愛子	西 田 澄 生	古 賀 保 利	佐久間(岩松)千代子	山 内 敏 博	野 田 雅 志	吉 武 (西村) 千 春
(高校2)	深 川 政 邦	志 波 政 彦	武富(大坪)照代	吉 田 紘 二 郎	本 村 豊	(高校38)
有 浦 次 海	的 野 三 千 夫	新 郷 道 明	塚本(江頭)世津子	井 形 (土井) 理 子	小 野 (小柳) 信 子	富 増 (中島) 瑞 恵
[故]於保好彦	[故]横田 宏	田 中 嘉 典	平野(村口)多喜子	奥 田 (中村) 良 子	友 田 邦 子	(高校39)
瀬戸口 洋 一	吉 丸 尚 真	七 島 竹 治	廣川(渡島)美智子	岸 川 イ ツ エ	江 頭 朋 彦	香 川 弘 行
竹 中 洋	吉 村 久 夫	福 田 孝 敏	松隈(横尾)雅子	坂 本 (野方) 政 子	大 家 保 幸	原 桂 子
高橋(柴田)玲子	荻野(小林)惇子	真 子 公	力武(橋間)シヅエ	田 中 丸 (牛島) 淑 子	緒 方 和 義	(高校40)
(高校3)	木下(武富)敏江	水 田 要	(高校13)	深川(中島)紀美子	新 田 (福島) 安 典	樋 口 寿 彦
相 原 一 郎	藤崎(平川)和子	溝 口 武 夫	鮎 川 正 興	本村(高塚)慧子	福 島 末 行	荒 川 好 子
内 塚 正 久	牟田口(荒巻)節子	牟 田 口 博 司	小 柳 保 彦	山 辺 (岸川) 幸 枝	飯 盛 (鳥井) 悦 子	(高校41)
大 塚 朝 夫	[故]相川昌道	浅野(牧瀬)廣子	鶴 本 勝 美	(高校18)	坂 口 (福島) 葉 子	飯 盛 宏 徳
城 島 文 雄	川久保 洋	東(横田)佐久良	中 尾 久 司	飯 盛 健 二 郎	永 水 (大谷) 和 子	山 崎 (黒岩) 史 子
徳 久 安 人 司	鈴 田 廣 太	伊勢(武藤)雅子	西 岡 範 治	大 坪 正 明	平 岡 (藤本) 直 美	(高校43)
野 中 栄 三	西 田 實	太田(川原田)京子	樋 口 秀 利	中 丸 素 明	八 田 (高木) 淳 子	松 本 智 弘
平 川 昌 治	深 川 光 雪	岡 本 (岡) 栄 子	河野(真崎)宣子	橋 間 文 生	匿 名 豊 中 市	大 串 (中島) 里 津 子
池田(古川)美智子	小島(深江)栄子	鶴橋(酒見)静子	古川(永野)悠紀	松 尾 啓 一	(高校23)	(高校44)
川内野(上瀬)エミ	(高校8)	寺尾(秀坂)桂子	(高校14)	松 瀬 初 男	南 里 信 幸	江 口 和 寿
古賀(真子)育子	安 藤 清 隆	西岡(香田)敏子	徳 勝 秀 俊	村 山 龍 彦	竹 田 (友田) 純 子	小 町 (村岡) 愛
鈴木(松田)千鶴子	稲 藤 清 人	森(野田)博子	橋 崎 進	川 添 信 子	中 島 富 士 子	真 島 (大坪) 真 輝 子
堤 (古賀) 美好	井 上 鉦 章	山崎(森)壽和子	橋 口 邦 紘	川 原 (石田) 潤 子	永 淵 (原) 幸 子	(高校45)
長 (鈴山) 節子	今 熊 孝 志	井 上 通 正	深 町 宗 孝	副 島 (綾部) 恭 子	福 島 (中原) 美 佐 子	猪 村 広 和
間野(古川)イエ子	大 野 雅 央	下 田 国 輝	森 永 四 郎	田 中 (諏訪) 洋 子	百 崎 (坂本) 久 美 子	匿 名 佐 賀 市
百田(大場)ユキエ	瀧 川 晴 雄	野 口 武 男	大塚(石丸)博子	野 田 (木塚) ひとみ	森 敦 子	(高校47)
(高校4)	永 池 隼 人	前 山 賢	島内(江口)智子	(高校19)	(高校24)	山 田 英 明
江里口 勲	七 鳥 義 人	真 子 茂 弘	橋野(秀島)節子	泉 繁 雄	西 村 (田中) 由 紀 子	(高校65)
川久保 弘	南 里 幸 太 郎	真 子 輝 雄	福島(真子)治枝	神 前 幸 敏	(高校25)	富 増 紘 希
古 賀 渡	西 山 俊 幸	溝 口 一 信	(高校15)	角 田 政 芳	三 根 英 樹	(本定5)
[故]江頭(中島)雪枝	秀 島 寛 美	池田(松瀬)昌子	板 垣 (牛丸) 修	峯 康 則	(高校26)	瓦 田 信 彦
小川(島田)勇紀子	牧野内 亮 治	稲 益 (野方) 一 子	豊 田 俊 明	池 田 (松永) 幸 子	川 副 春 海	(本定6)
久保(相川)洋子	松 本 勝 利	井 本 (森永) ツ ネ 子	中野(淵田)正人	匿 名 小 城 市	田 中 伸 子	手 塚 忠
陣 内 弥 生	眞 子 雅 允	内 野 (山本) 俊 子	冬 野 五 郎	(高校20)	矢 野 (田中) 律 子	(本定9)
西 (川俣) 智 子	森 俊 之	倉 永 寿 子	真 子 義 秋	大 坪 健 造	(高校28)	今 村 健 一
野口(松永)八恵子	山 口 勝 利	茂 田 (北島) 道 子	持 永 (真子) 正 彦	岡 田 修 三	田 中 博	(本定11)
八頭司(遠藤)君江	江 里 口 (柳川) 和 子	末 田 (下村) 順 子	久保(荒木)富子	片 倉 輝 久 雄	武 田 (山田) 郁 子	藤 尾 成 能
(高校5)	大 野 (於保) 富 子	堤 (田中) 巡 子	陣内(久我)宏子	木 崎 善 行	寺 西 (井手) 秀 佳	他 匿 名 1 人
池 田 庫 久	金子(日出島)京子	丸 谷 (田中丸) 房 子	中 島 (北村) 要 子	北 島 和 道	匿 名 小 城 市	
伊 東 研 二						

平成30年度黄城会役員一覧

▷会長=岩松要輔(高10)▷副会長=七田義孝(高15)川副春海(高26)井手真喜子(高29)▷顧問=永田彰浩(校長)福島倫平(教頭)▷理事=永池安彦(高4)川副富男(高5)佐々木昇三(高7)大野雅央(高8)真子輝雄(高11)小柳平一郎(高12)中尾久司(高13)森永四郎(高14)梅崎茂弘(高16)

松尾剛之(高17)野田和良(高18)江口武(高19)野田豊秋(高20)坂井正徳(高21)坂井一弥(高22)中野良紀(高23)古賀正人(高24)圓城寺猛(高25)横尾俊彦(高27)井手美保子(高28)岡正幸(高30)安永正(高31)伊東猛彦(高32)水田信(高33)真崎俊夫(高34)松尾直人(高35)西岡聖師(高

36)梶原聖司(高37)北島清孝(高38)北村武士(高39)高塚誠(高40)飯盛宏徳(高41)野田一彦(高42)西田亮(高43)瀨上史貴(高44)▷監事=梶原千尋(高5)金丸盛登(高9)福田智恵子(高26)▷事務局長=外尾美好(高20)▷庶務=山崎史子(高41)▷会計=田代智子

支部役員一覧

[関東支部]▷支部長=橋崎進(高14)▷副支部長=本村清人(高17)▷幹事長=岸川昌子(高15)▷副幹事長=村上徹(高19)▷常任幹事兼事務局長=川副隆之(高32)

[中京支部]▷支部長代行=力武勉(高17)▷副支部長=梅谷雅和(高17)▷副支部長=中嶋桂子(高25)▷事務局長=堤淳(高40)▷事務局次長=吉田了(高43)▷会計=真子博行(高39)

[関西支部]▷支部長=新田安典(高22)▷副支部長=岡本正史(高27)▷

事務局長=古賀和良(高31)▷事務局次長兼会計=森山栄子(高31)

[関門・北九州支部]▷支部長兼事務局長=山口孝美(高29)

[長崎支部]▷支部長=古川正人(高8)▷事務局長=大石太(高10)

[福岡支部]▷支部長=岡本壽夫(高10)▷副支部長=山口順蔵(高18)堺八千代(高25)▷幹事長=古賀省吾(高26)

[佐賀支部]▷支部長=江里口勉(高16)▷副支部長=梶原千尋(高5)金

丸盛登(高9)宮原史枝(高15)▷事務局長=岸川宗一郎(高20)

[唐津支部]▷支部長=白石元秀(高7)▷副支部長=永瀨明則(高16)▷事務局長=鮎川正博(高28)

[多久支部]▷支部長=吉浦啓一郎(高15)▷副支部長=牛島和廣(高17)尾形節子(高4)飯守康洋(高24)▷幹事長=内野正久(高3)▷事務局長=古賀通雄(高23)

[県庁支部]▷支部長=南里隆(高31)▷幹事長=塚原弘幸(高35)

平成29年4月～平成30年3月までの物故者(敬称略)

(回期)氏名[住所]

(旧中)(31)野田 鉄九郎[佐賀市](32)北島 研治[多久市](37)松本 忠雄[鎌倉市](40)江口 茂[東大和市](41)江里口 政美[小城市](41)倉富 悦郎[春日市](41)渡邊 尚次[福岡市](45)古賀 善雄[多久市](46)池田 裕實[相模原市](46)深川 昭雄[小城市](47)山田 武彦[小城市](高女)(9)眞崎 キミ[佐賀市](11)石山 エイ子[小城市](12)陣内 スマ[小城市](12)村山 トヨ[中野区](14)嘉村 チソコ[佐賀市](14)田中 丸 カズ子[北九州市](14)永瀨 すま[多久市](15)北島 逸子[佐賀市](16)川久保 妙子[小城市](16)西 徳子[神崎市](17)森 ワカエ[小城市](18)木村 富美子[小城市](20)塚原 タマエ[佐賀市](22)林 信子[千葉市](23)鳥屋 昭子[小城市](23)挽地 英子[多久市](25)永山 タツエ[小城市](27)栗原 愛子[佐賀市](高校)(1)野口 ヤス子[多久市](2)音成 末男[長崎市](2)於保 好彦[佐世保市](2)貞松 正彦[小城市](2)濱野 芳幸[多摩市](3)井手 一

正[多久市](3)大坪 満寿雄[佐倉市](3)大野 卓也[大宰府市](3)中尾 善之[佐賀市](3)西山 武人[佐賀市](3)森永 隆[八王子市](3)石橋 朝子[佐賀市](3)伊東 恵子[多久市](3)宮崎 サキ子[佐賀市](4)江頭 雪枝[三養基郡](4)柴元 由子[多久市](4)田中 衣子[佐賀市](4)中野 カメヨ[小城市](4)眞子 コマ子[小城市](5)田中 実[小城市](5)藤原 節雄[さいたま市](5)溝口 平八[小城市](6)飯盛 宏猷[小城市](6)岩佐 靄子[練馬区](6)佐田 敏子[福岡市](7)相川 昌道[神戸市](7)江里口 智得[小城市](7)西村 信幸[小城市](8)高木 勇雄[小城市](8)土井 一也[小城市](8)中川 幸[佐賀市](8)宗 丞[狛江市](8)村山 昭三[小城市](8)石丸 香奈子[多久市](8)鶴 ツチヨ[佐賀市](8)野中 ミチ子[佐賀市](9)橋間 啓人[北九州市](10)池田 正隆[三浦郡](10)毛利 聖子[唐津市](11)服巻 昌平[佐賀市](11)村岡 英治[小城市](11)西嶋 雅代[福岡市](12)陣内 勝俊[佐賀市](12)武

富 義夫[西東京市](12)太田 隆子[佐賀市](13)田中 康子[佐賀市](14)松永 正也[小城市](14)山口 弘子[神崎市](15)中牟田 秀徳[小城市](15)林 千鶴子[さいたま市](17)飯盛 信男[佐賀市](17)大塚 正直[多久市](17)原口 憲吾[小城市](19)石山 英則[小城市](19)北島 政利[小城市](19)木下 隆吉[小城市](19)山田 健二[尼崎市](19)大塚 久美子[福岡市](19)村岡 都枝子[佐賀市](20)伊東 和泰[小城市](20)鳥松 延吉[福岡市](20)橋間 方起[印西市](20)西 悦子[佐賀市](20)宮後 ひろ子[佐世保市](21)伊東 日出男[佐賀市](21)西川 和典[佐賀市](21)近藤 代里子[浦安市](23)林田 龍信[小城市](24)松尾 久美子[小城市](37)廣川 秋仁[多久市](47)福田 憲司[佐賀市](定時)(本定4)中野 秀春[佐賀市](牛定2)古賀 猛[小城市](牛定5)利光 洋子[横浜市]

一般寄付金

(平成29年4月～平成30年3月)

佐賀支部主催第14回ゴルフコンペ 41,000円/高校19回一同様(卒業50周年) 30,000円/高校40回一同様 2,400円
高校43回一同様 50,000円

「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

黄城会の「会費」及び「会員寄付金」の納入について、下記によりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会費につきましては、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行（郵便局）』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしております。お一人でも多くの皆さまにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

会費納入については機会あるごとにご協力をお願いしておりますが、なかなか納入が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりましたので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金のご協力をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただいております。

黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、「会費」及び「会員寄付金」の納入について、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年は、小城高等学校が創立120年目を迎え、来年10月26日（土）には記念式典が計画されています。黄城会からは、学校の要望を受け、体育館に演台一組の寄贈を計画したいと存じますので、重ねてご協力をお願いします。

なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入のお願いが届きましたらご寛恕ください。

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。	※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。
②会費の振込金融機関 1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）』又はコンビニから振り込みをお願いします。 5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけるときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み（口座振替）』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

【会費】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人数	1,247人	1,296人	1,418人	1,439人
金額	4,500,000円	3,580,000円	3,820,000円	3,886,000円

【会員寄付金】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人数	364人	360人	336人
金額	2,879,000円	2,858,206円	3,567,000円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更（改姓を含む）されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行（郵便局）』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。会員寄付金のみを振り込まれる方も同様をお願いします。

編集後記

ここ数年で祖父母を亡くし、ふと2人が元気だった頃の事を思い出すことがあります。生きていくうちにもっと会いに行けばよかった、祖父母から愛情をたくさん貰っていたのに、どうしてあの時あんな事を言ってしまったのか…たくさんの後悔はありますが、後悔を反省に変えて、遠くでも少々無理してでも、大切な人と元氣なうちに会い、感謝の気持ちを伝えたいと思います。黄城会総会や各支部総会も、皆様が大切な人と再会するきっかけのひとつになることを願っております。（山崎）